

カポエイラの魅力

兵庫センターの盛舛さんからバトンを受け取りました、藤田です。研修でたまたま再会したときに「絶対に断らないでくださいね」と言われてから頼まれてしまい、今この原稿を書いております。

昨年の末よりカポエイラを始めました。カポエイラとは16世紀以降に、アフリカからブラジルへ移住を強いられた黒人奴隷が生み出したとされる格闘技です。

基本的にカポエイラは、みんなでホーダ（円、サークル）を作って楽器を弾いて、歌い、その中で2人のカポエイリスタ（カポエイラをする人）が攻撃と防御の動きを相互に行っていきます。この2人で行う組み手をジョゴ（ゲーム）といいます。そのジョゴは闘いの形式をとっていますが純粋な格闘技とは少し違います。闘っている2人の動きはまるで踊っているかのように見えます。アフリカ土着の踊りのようでもあるし動物の動きにも似ています。

じゃあカポエイラは純粋な踊りなのか？ というと、そうではありません。ちゃんと闘っています。もちろん鋭い蹴りやアクロバットな動きもありますが、ただ派手に動いて相手を倒すだけではなく将棋やチェスのような頭を使った闘い方もします。もちろん全く同じではありませんが日本の「武道」と似たイメージを持つ人も多いと思います。

誤解を招く言い方かもしれませんがカポエイラは相手を倒すことが最終的な目的ではありません。打撃で相手をダウンさせることが目的ではありませんし、相手をケガさせることが目的ではありません。カポエイラのジョゴは身体を使って会話をするように進めていきます。2人で会話をするように、パズルゲームをするように。ジョゴは2人で作り上げるものなのでお互いのコミュニケーションが大事になってきます。そしてその場にいる1人ひとりがエネルギーを高めていくことによってそのホーダがすばらしいものになります。



ここまで読んでわかると思いますが、カポエイラを文章で説明しようとしてもどンドンクイズのようになってしまいます。逆に頭がこんがらがってしまって理解できなくなってしまいます。もしあなたがカポエイラをやっているところに出くわしたとき、格闘技をする人だったらその闘い方に興味が沸くでしょう。音楽が好き人だったらその楽器隊が作り出す強烈なグルーブにもってかれるでしょう。ダンサーだったらその見たことがない動きに目が釘付けになるでしょう。そしてだれもがそのホーダの作り出す大きなエネルギーを感じることができると思います。

カポエイラをわかりたいければ感じる事が一番大事！決して文章からだけでは掴みきれない「何か」があります。そしてその「何か」を感じ始めたとき、もうカポエイラの魅力から離れることはできません。ハマっている証拠です。カポエイラは既存の概念では括りきれないとしても「新しい価値観」を持っていると思います。もしその「新しい価値観」に興味があるならぜひ始めてみてください。

さて次回は広島センターの末永さんです。大学時代よりいろいろ世話して、世話になった友人です。今回も無理を承知でリレートークを頼みました。それでは、よろしくお願ひします。